

とつかボランティアセンター 通信

ボランティア活動で、希望があふれる春！

今回は、「連載」と「各種ご案内」を中心に、とつかボランティアセンター通信をお届けいたします。

キラリ★

連載

あの団体のボランティア担当者



副会長(総務部会長)
竹内美千代さん

会長
増岡啓子さん

今回取材させていただいたのは…
国連ウィメン日本協会よこはま

ドキドキと期待に胸をふくらませ、いざ新しいボランティア活動を！と始めてみたら、なんだかイメージと違った・・・などということはありませんか…？

そんな残念なミスマッチを減らせるよう「活動前の面談は必須で、丁寧にお話を聞いています」と話されるのは「国連ウィメン日本協会よこはま」の増岡さん。「国連」という名前や「世界の女性と少女に希望の未来を届けたい」という理念からくるイメージなどで、高くなりがちな敷居を下げたい。単発で活動することから自分たちの活動を知って欲しい、と「スポットボランティア」の募集を始めたのが8年前とのことです。「面談」では「活動する人の得意な分野を伝えてもらうことで、新しい活動を生む機会になる」と意欲的でした。まずはお話をしてみませんか。

国連ウィメン日本協会よこはまのボランティア募集内容 <http://www.unwomenyokohama.org/>

- ・スポットボランティア＝イベント等での広報、募金活動、イベント手伝い等
- ・ウィメンショップ（上倉田町435-1 男女共同参画センター横浜内1階）関連作業

※事前面談必須/交通費なし ※※ウィメンショップは施設一部改修のため、5月よりクローズします。

活動詳細のお問い合わせは、とつかボランティアセンターまで

コロナ禍でも元気に活動をしているボランティアさんをご紹介します

わたし **活動中!** です

藤堂さん は
高校3年生。昨年12月から横浜 YMCA ワークサポートセンターで、週に1回パンの袋詰めボランティアをしています。

ボランティアのきっかけは？

大学がきまり、自由な時間が出来たので、新しいことを始めようと思ったからです。

活動は楽しいですか？

もちろん楽しいです。パンが好きなので、関連内容の活動に幸せを感じています。

コロナ禍での活動は・・・？

コロナが流行してから始めたので、特に意識したことはないです。これからも、できる限り続けたいと思っています。

